

区の沿革

江戸から続く日本の文化・商業の中心

本区は、江戸以来400年以上にわたり、日本の文化・商業・情報の中心として発展してきた由緒あるまちです。昭和22年（1947年）、日本橋区と京橋区が統合され「中央区」が誕生しました。

地理的特徴・面積

東京23区のほぼ中央に位置し、その区域は、両国橋下流の隅田川右岸に沿って帯状に広がりを見せる日本橋・京橋方面、隅田川河口にある佃ならびに明治以降の埋め立てによってできた月島、それに続く晴海などからなっています。

区域の東西両端の最長距離は約3km、南北間は約5.5km、面積は10.115km²と小さい区です。

主要スポット

江戸五街道の起点で日本国道路元標のある名橋「日本橋」、日本一のショッピングストリート「銀座」、食文化の拠点「築地」、東京の表玄関「八重洲」、隅田川や東京湾に面した「佃」「月島」「晴海」の長大なウォーターフロントなど、数多くの魅力的なスポットを擁し、小さくとも魅力あふれる都心のまちです。

